

## 「日本技術士会」との包括協定を締結します

～日本技術士会は公共土木施設のホームドクターとして貢献します～

日本技術士会静岡県支部と牧之原市は、公共土木施設に係る技術助言に関する包括協定を締結します。なお、技術士会と自治体との包括協定は全国初となる見込みである。詳細は次頁のとおり。

### 記

#### 1 協定締結日時及び会場等

- (1) 日 時：平成 27 年 11 月 30 日（月曜日）午後 1 時 30 分から
- (2) 場 所：牧之原市役所榛原庁舎 5 階庁議室
- (3) 締結者(甲)：牧之原市長 西原茂樹  
〃 (乙)：公益社団法人 日本技術士会静岡県支部長  
山下久吉（敬称略）

#### 2 協定概要

牧之原市所管の公共インフラが自然災害等で被災し大規模改修が必要となったとき、若しくは各事業実施時における様々な課題やニーズに対し、専門的な立場からの助言や広い知見からの情報・ノウハウを求めることができる。

#### 3 問合せ先

牧之原市役所建設部技監 望月 満

TEL：0548-53-2628

FAX:0548-52-3772

Mail:kensetsu@city.makinohara.shizuoka.jp

平成 27 年 1 1 月 2 7 日

<件名>

「公共土木施設に係る技術助言に関する包括協定」  
の締結調印式の開催について

(建設管理課)

1 概要

牧之原市と公益社団法人日本技術士会(静岡県支部)<sup>※1</sup>は、「公共土木施設に係る技術助言に関する包括協定」を締結する。このことにより、地震等で被災した公共土木施設の復旧・復興方針の助言、職員の技術力向上に資する研修や技術指導、新技術・新工法の情報提供を受けることができる。なお、技術士会と地方自治体との包括協定は全国初となる見込みである。

2 協定締結の目的と背景

急速な少子高齢化、頻発化する局所豪雨や巨大地震の切迫など新たなステージに入ったとされる。市民からの基盤整備に対するニーズが多様化し、社会構造の変化に柔軟に対応できる人材が求められている。また、公共施設の品質確保、様々な課題及びニーズに対し、機動的かつ的確に対応するために、豊富な経験と高度な知識を有する専門的な立場からの助言や情報・ノウハウが必要不可欠となっている。

3 想定される助言項目

- ・大規模災害時の復旧・復興方針、応急工法等の助言
- ・施設の長寿命化に資する工法選定、新技術・新工法情報の提供
- ・プロジェクト推進を第3者的立場で俯瞰的な指導・助言など

※1 公益社団法人 日本技術士会とは

公益社団法人日本技術士会中部本部静岡県支部が属する日本技術士会には、建設、経営など計 21 部門に 1 万 4 千人余 (2015 年 3 月末時の技術士が入会している。構成員は、大学教員、企業研究者、ゼネコン監理技術者、建設コンサルタント監理技術者など多種多様にわたっている。